

追 悼

日本微量元素学会の創設期より今日に至るまで多大のご支援を賜りました浜理薬品工業株式会社取締役会長である高美茂夫氏が2012年(平成24年)3月20日にご逝去されました。享年82歳でした。ここにお知らせ致しますとともに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

同氏は、1954年(昭和29年)3月京都薬科大学を卒業され、1960年(昭和35年)浜理薬品工業(株)取締役、1973年(昭和48年)同社代表取締役副社長を経て、1974年(昭和49年)4月に同社ならびにハマリ産業(株)代表取締役社長に就任されました。そして、2003年(平成15年)11月に社長の職を退き、その後は同社取締役会長を務めておられました。また、並行して1980年(昭和55年)より米沢浜理薬品工業(株)代表取締役社長、1994年(平成6年)より同社取締役会長を務めておられました。

その間、社会的にも多大なる貢献をされ、その功績に対して大阪府薬事功労者知事賞(1983年)、薬事功労者厚生大臣表彰(1995年)、山形県政アドバイザー(1997年)、発明大賞石井考案功労賞(2002年)、大阪府知事表彰(業界振興・産業発展等の功績)(2004年)、大阪府産業功労者知事表彰(2010年)など数多くの賞が贈られております。

本学会の研究学術賞である「浜理薬品賞」は基礎的な研究に携わる研鑽著しい若手研究者を顕彰するために同氏により設立されたものです。この創設期より長きに渡る本学会の発展ならびに微量元素研究向上へのご貢献に対して、2010年(平成22年)7月には本学会からも日本微量元素学会功労賞を贈らせていただきました。

同氏は種々の医薬品製造の過程で、健康維持、疾病治療における微量元素の有効性に目を向けられ、とくに亜鉛製剤の開発に情熱を注がれ、尽力されました。同氏は経営者でありながら新しい知見や最先端の情報を求めて自ら発信元へ赴き、知識の向上に努める研究心旺盛な方でした。大学研究室で、学術集会で、そして宴の会で、同氏を交えて亜鉛を酒の肴にしての語らいは、いつも少年のように熱く夢を語り合う楽しい時間でした。

現在、肝疾患、消化器系疾患、亜鉛欠乏性疾患などに対する亜鉛治療の有効性など、保健のみならず、臨床における亜鉛の栄養や治療の重要性や必要性が認められ始め、同氏の志が実現化して参りましたことは大変喜ばしいことです。

以上のように、同氏の日本微量元素学会における長年にわたる功績はまことに顕著であり、ここに、ご生前のご厚情に深く感謝すると共に、同氏のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。



故 高美 茂夫 氏

平成24年8月24日

日本微量元素学会

第6代、第7代理事長 荒川泰昭

BIOMEDICAL RESEARCH ON TRACE ELEMENTS

2012 Vol.23 No.3

日本微量元素学会

Japan Society
for Biomedical Research
on Trace Elements